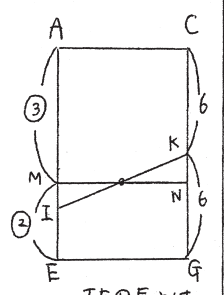


1	(1) 23	(2) $\frac{2}{3}$	(3) 4	(4) 62
	(5) 100	(6) $1\frac{7}{20}$ (1.35)	(7) 3	(8) 3 : 55

2	(1) 14	(2) $\frac{90}{150}$	(3) 8 個	(4) 225 ページ
	(5) 8 分後	(6) 80 g	(7) 12 cm	(8) 50.24 cm

3	(1) (式または考え方) $6 \times 6 \times 12 \times \frac{3}{5} = 259.2 \text{ cm}^3$	(2) (式または考え方) この直方体の体積が 3 : 2 となるように、 底面と水平な平面で切るとする。 その平面と辺 AE が交わる点を M、 辺 CG と交わる点を N とすると、 MI と KN の長さは等しくなる。 CN の長さ と NG の長さの比は 3 : 2 だから、 NG の長さは、 $12 \times \frac{2}{5} = \frac{24}{5} = 4.8 \text{ (cm)}$ KN の長さは $6 - 4.8 = 1.2 \text{ (cm)}$ ME と NG の長さ、MI と KN の長さは等しいから、 IE の長さは $4.8 - 1.2 = 3.6 \text{ (cm)}$	
	(答) 259.2 cm ³	(答) 3.6 cm	

4	(1) (式または考え方) 1 時間に 3 台で $1500 \times 3 = 4500$ 個 作ることができる。 6000 個 作るためには、 $\frac{6000}{4500} = \frac{4}{3}$ (時間) 7 時 30 分の 1 時間 20 分後だから、 全て作り終えるのは、 8 時 50 分。	(2) (式または考え方) 7 時 30 分から 8 時 10 分までの 40 分間で、 2 台で作ったぎょうざは、 $1500 \times 2 \times \frac{40}{60} = 2000$ (個) 故障した 1 台は、15% 失敗したので、できたぎょうざは、 $1500 \times \frac{40}{60} \times (1 - 0.15) = 850$ (個) 残りは、 $6000 - 2850 = 3150$ (個) で これを 2 台で作るのにかかる時間は、 $\frac{3150}{3000} \times 60 = \frac{3150}{50} = 63$ (分) 8 時 10 分の 63 分後に全て作り終えるので、9 時 13 分。
	(答) 午前 8 時 50 分	(答) 午前 9 時 13 分

受験番号	* 評点

(*印の評点らんには、何も書かないこと)